

平成27年度 市政アンケート調査 設問・回答用紙

回答いただくにあたって、基礎的な情報をお尋ねします。

- あなたの、性別をお答えください。

男性 ・ 女性

- あなたの、年齢区分をお答えください。

18歳～29歳 ・ 30歳～39歳 ・ 40歳～49歳

50歳～59歳 ・ 60歳～69歳 ・ 70歳～79歳

- あなたの、お住まいの区をお答えください。

中央区 ・ 東区 ・ 西区 ・ 南区 ・ 北区

- あなたの、お住まいの小学校区をお答えください。

小学校区（ ）

- アンケート欄について

※ 選択する設問については、あてはまるアルファベット

記号等を○で囲んでください。

I 「住みたいまち・暮らしやすいまち」について

【都市政策課】

調査の趣旨

本調査は、人口減少・超高齢社会の進展が見込まれる中でも、熊本市が「住みたいまち・暮らしやすいまち」であり続けるため、どのようなまちを市民の皆様が求めているのか把握することを目的に調査を行うものです。

調査の内容

1 居住環境及び公共交通機関の利用について

熊本市は、百貨店やバスターミナル等を有する中心部や、自然と共生した地域など、多様な居住地を選択することができます。

今後、将来にわたって熊本市に住み続けていただくために、どのような居住地を市民の皆様が求めているのかを把握するため、下記の問いにご回答下さい。

問1 あなたは、どのような地域に住みたいですか。(2つまで)

- A 日常生活サービス施設（スーパーや病院など）が充実している地域
- B 公共交通の利便性が高い地域
- C 地域コミュニティ活動が活発な地域
- D 災害時等の対応が明確で安心して暮らせる地域
- E 緑や水辺に囲まれた自然環境豊かな地域
- F 道路や公園などの都市基盤が充実した地域
- G その他（ ）

問2 あなたは、自宅から自家用車を使わずに行けるところ（公共交通や自転車、徒歩等で行けるところ）にどのような日常生活サービス施設があれば、生活しやすいですか。（3つまで）

- A 生鮮食品や日常生活用品などが揃う商業施設や商店街
- B かかりつけ医となるような日常的な医療施設
- C 区役所や総合出張所などの公共施設
- D 郵便局や銀行などの金融機関
- E 高齢者のための福祉施設（デイサービスなど）
- F 児童のための福祉施設（保育園や幼稚園など）
- G 図書館や博物館などの教育文化施設
- H その他（ ）

問3 問2で回答したような施設を徒歩や自転車で利用する際、あなたは、その施設までの所要時間はどのくらいまでなら許容できますか。（1つだけ）

（徒歩の場合）

- A 5分以内
- B 5分～10分
- C 10分～15分
- D 15分～30分

（自転車の場合）

- A 5分以内
- B 5分～10分
- C 10分～15分
- D 15分～30分

問4 あなたが、鉄道（JRや熊本電鉄）を利用する際、徒歩で居住地から駅までかかる時間は、どれくらいまで許容できますか。（1つだけ）

- A 5分以内
- B 5分～10分
- C 10分～15分
- D 15分～30分

問5 あなたが、市電を利用する際、徒歩で居住地から電停までかかる時間は、どれくらいまで許容できますか。(1つだけ)

- A 5分以内
- B 5分～10分
- C 10分～15分
- D 15分～30分

問6 あなたが、バスを利用する際、徒歩で居住地からバス停までかかる時間は、どれくらいまで許容できますか。(1つだけ)

- A 5分以内
- B 5分～10分
- C 10分～15分
- D 15分～30分

問7 バスの運行間隔として、あなたは、何分間隔まで許容できますか。

(1つだけ)

(通勤・通学の時などの急いでいるとき)

- A 5分間隔(1時間に12本)
- B 10分間隔(1時間に6本)
- C 15分間隔(1時間に4本)
- D 20分間隔(1時間に3本)
- E 30分間隔程度(1時間に2本)

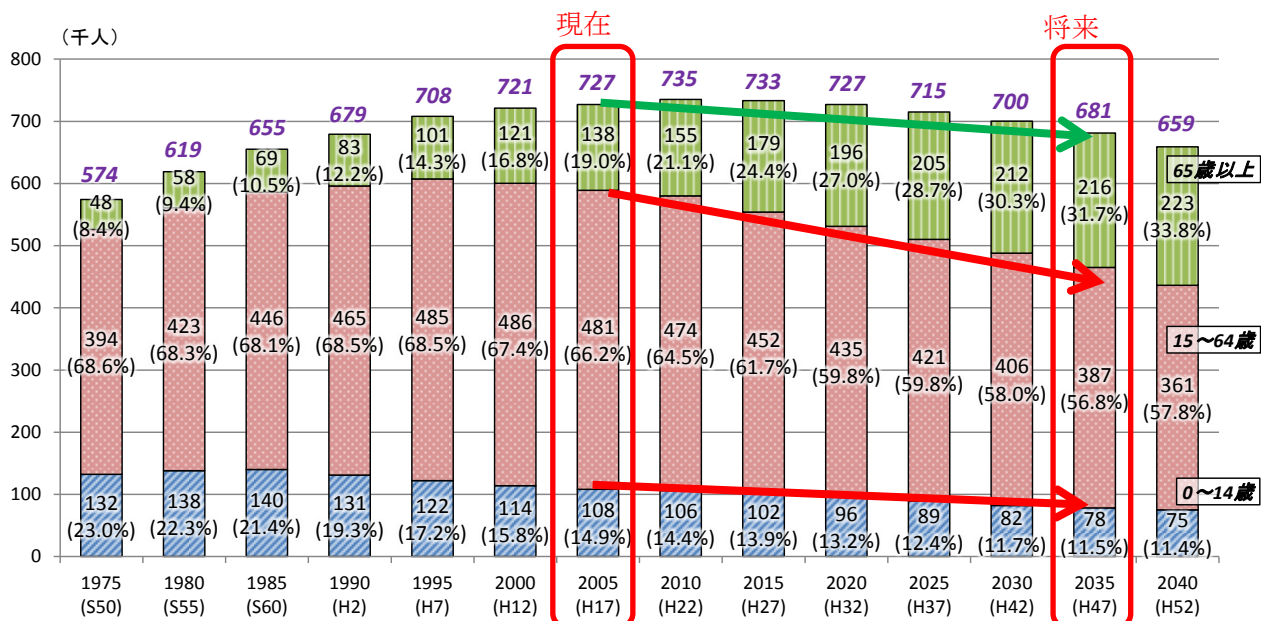
(買い物や私用などの急いでいないとき)

- A 5分間隔(1時間に12本)
- B 10分間隔(1時間に6本)
- C 15分間隔(1時間に4本)
- D 20分間隔(1時間に3本)
- E 30分間隔程度(1時間に2本)

2 人口減少・超高齢社会について

全国的に人口減少・超高齢社会の進展が見込まれる中、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、熊本市においても2040年の推計人口は約66万人と、約8万人の人口減少が見込まれています。一方、総人口は減少する中、65歳以上の高齢者人口は約7万人増加します。減少するのは子どもと働く世代です。

こういった状況においても、熊本市が持続的に都市の活力を維持するには、どのようなまちづくりを市民の皆様が望まれているのかを把握するため、下記の問いにご回答下さい。



△熊本市の人口推計

資料) 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 (H25.3 推計)

問8 あなたは、熊本市の人口が将来減少見込みであること、また少子高齢化が進展見込みであることについて知っていましたか。(1つだけ)

- A 知っていた
- B 概ね知っていた
- C 知らなかった

問9 あなたは、人口減少・超高齢社会が進展すると、具体的にどういった問題が生じると
思いますか。(3つまで)

- A 中心市街地や駅前等が衰退し、熊本市の魅力・活力が衰退する
- B 利用者の減少により、近くのスーパーや診療所などが減る(無くなる)
- C 利用者の減少により、バス路線等が削減され、子供や高齢者など自家用車を利用できない人の移動が不便になる
- D 空き地や空き家の増加や地域コミュニティが衰退することにより、生活環境が悪化する
- E 税金の減少・社会保障費の増加により、市民への行政サービス(道路・公園の維持管理やごみ収集回数など)が低下する
- F 問題は生じない
- G その他()

問10 今後の熊本市のまちづくりについて、あなたが望むことをご記入ください。
(記述式)

()

ご協力ありがとうございました。